

〔整備事業者のための情報誌〕

MSR

月刊 [エムエスアル]

プレ創刊号

メンテナンスショップレポート

令和4年12月10日発行(毎月10日発行)

特集 2023年1月4日より車検証が電子化されます



〔連載〕

儲けるためのマナー講座 / 実践M&A こんな時どうする?
車販取り組みのための基礎工事 / いづみの車検予約やってみた

人とクルマに優しい、
サービスの未来空間を創造。

BANZAI®

NEW

革新の能力 4ton アーム式リフト!
常識を覆す**強靱** フレームボディ!!

イーグルアドバンスリフト

EAGLE
advance
ALY-F40A

4TON
SPEC



◀こちらのQRコードより
動画をご覧いただけます。

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

日本・米国・欧州・他
特 許 取 得 済

⚠ 安全に関するご注意・ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。(型式・仕様は予告なく変更することがあります。)

BANZAI

株式会社 **バンザイ**

■本社 〒105-8580 東京都港区芝2-31-19
TEL 03(3769)6880(代) FAX 03(3456)4691
<https://www.banzai.co.jp> E-mail: eigyo@banzai.co.jp



ISO9001-ISO14001

自動車整備用機器・検査用機器の設計・開発・販売及びサービス
バンザイでは「顧客第一主義」を信条に
お客様とのきずなを大切にし、
お客様満足度の向上を図ってまいります。

Diagnostic Tool TPM-3

特定整備認証ツール

TPM史上最高の
コストパフォーマンスツール誕生

液晶 2.8 インチの
コンパクトボディに
TPM ならではの機能を網羅

TFT2.8 インチ

全長 176.6mm・
全幅 93.6mm・
奥行 44.5mm の
コンパクトボディ



TPM-3 の診断機能

故障コード読取 & 消去	✓
データモニター	✓
アクティブテスト	✓
作業サポート	✓
カスタマイズ機能	✓

TPM ならではの特殊機能

- 完了証明書（エビデンス）発行まで一連の作業の流れで行える **エーミングモード**
- バッテリー診断を行う **簡易バッテリーテスト機能**
- 車検や点検時の作業 **メンテナンスモード**
- DPF 作業を簡素化させる **DPF モード**

対応メーカー

国産乗用車	トヨタ・日産・ホンダ・マツダ・スバル・三菱・ダイハツ・スズキ
国産トラック	日野・いすゞ・三菱ふそう・UDトラックス
輸入車	メルセデス・BMW・VW・アウディ・BMW ミニ・アルファロメオ

整備工場の女性フロントスタッフが考えた【入庫管理】と【ネット予約】を一元化!



車検実績年6千台の指定工場設計!



- 現場の動きをリアルタイムで共有!
- 使い勝手抜群! 便利な機能も!
- 基幹システムとの連動可能
- フロントの業務の効率アップで売上向上
- お客様もメカニックも安心して使いやすい

簡単だ

工場がパンクしない! 入庫管理も予約管理も一発!!

くせになるほど

☎ 087-867-6868 または <https://totoco.biz>
(平日 9:00 ~ 17:00)





月刊メンテナンスショップレポート
令和4年12月10日発行
プレ創刊号



【表紙写真】

第23回 全日本自動車整備技能競技大会で
優勝した新潟県自動車整備振興会チームの
石田俊行選手と久保仁選手

メンテナンス ショップレポート

発行人 小川直紀
編集長 八木正純
編集・制作スタッフ 市井康義、長谷川明憲
樋口祥三郎、高橋美穂
青山竜、木下慶亮
加戸利一
取材協力 泉山大（プロジェクトD）

発行所 株式会社プロトリオス

【東京編集課】

〒115-0045 東京都北区赤羽 2-51-3
TEL03-5939-4133 FAX03-5939-4135

【大阪編集課】

〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町 2-3-7
TEL06-6227-5601 FAX06-6227-5606

印刷所 共立印刷株式会社

特集

08

2023年1月4日より 車検証が電子化されます

2023年1月4日より車検証の電子化がスタートする。特設サイトも設けられたものの、その情報が各整備事業者にまで浸透しているかという点、疑問を拭えない。そこでほぼ同じタイミングでプレ創刊を迎えた本誌が、電子車検証の実態に迫った。

30

逸品2022

今年発売された様々な商品から、各社イチオシの商品の数々を厳選してご紹介。

06

創刊によせて プロトリオス 代表取締役社長 福本尚基

Topics

16

MSC 感動夢工場が第1回研究会を開催 講師2名を招く特別回

情報

27

情報 BOX

28

新製品情報

32

プロトリオスシステムユーザーレポート

連載記事

17

業界徒然草

18

儲けるためのマナー講座

寄稿 早藤 原田さとみ

20

車販取り組みのための基礎工事

寄稿 チームエル 関友信

24

いづみの車検予約やってみた

寄稿 ヤマウチ 人見いづみ

26

実践 M&A こんな時どうする？

寄稿 フォーバル 寺越基格

創刊によせて

弊社は2022年で創業55年を迎えました。また月刊ボデーショップレポートも創刊50周年を迎えるなど、長らく車体整備業界の成長・発展とともに歩んでまいりました。

またその一方で、自動車整備業界の皆さまに対しても、各種単行本や自動車整備システムを通じて業務支援またそれに伴う情報発信に努めてまいりました。改めて両業界関係者の皆さまに感謝申し上げます。

振り返ってみますとこの50年は自動車業界にとっても激動の50年だったかと思います。加えて昨今では、アフターマーケットを含めた自動車業界全体が「100年に一度の大変革」を迎えております。

いわゆる自動ブレーキに端を発します先進安全技術・装置を搭載した車両の新車販売に占める割合は増加の一途をたどり、ほぼ100%に近いところまできています。その究極は自動運転車であり、一方で環境意識の高まりから来る、世界的なEVシフトのトレンドなど枚挙に暇がありません。

こうした自動車そのものの変化に対応すべく、2020年からは分解整備の概念を拡

大・発展させた特定整備認証制度とOBD点検・検査の開始へとつながっています。

中でも電子制御装置整備という新たな概念の導入によって、従来の分解整備と車体整備とは、より密接な関係を構築することになるとともに、電子制御化や電動化による新たな整備需要への対応など、高度化する分解整備において情報の重要性が一層増してまいります。

こうした状況下ではたして弊社も媒体を通じた情報発信に関して、新たな取り組みが必要ではないのか？と自問自答いたしました。

そこで出した結論が本誌メンテナンスショップレポート（MSR）でございます。今回の創刊を機に、分解整備事業者の皆さまに有益な情報をタイムリーにお伝えし、安心安全な自動車社会の実現に向け、その架け橋に本誌がなれることを願ってやみません。

株式会社プロトリオス
代表取締役社長 福本 尚基





メンテナンスショップレポートは 2023 年 3 月 本創刊いたします!

今回プレ創刊号をお届けしましたMSRこと、メンテナンスショップレポートですが
2023年3月に本創刊し、毎月皆さまの元にお届けする予定で準備を進めてまいります
しばらくお時間をいただきますが、期待を持ってお待ちいただければと思います

MSR 編集部



2023年1月4日より、自動車検査証の電子化がスタートする。この日以降販売・登録される新車（登録車）や、継続検査を迎える使用過程車から順次「電子車検証」に切り替わっていくことになる。国土交通省では、自動車ユーザーや自動車関係の事業者のさらなる利便性向上のため、自動車登録手続きのデジタル化に取り組んでいる。

2022年現在、車検証の交付を受けるためには運輸支局等へ出向くことが必要だが、車検証を電子化し、民間車検場いわゆる指定整備事業者等の事業所等において車検証の有効期間を更新する仕組みを新たに導入することで、車検時の運輸支局等への来訪を不要とする制度とシステムを導入するものである。

電子化に伴って車検証は従来の紙製のA4サイズのものから、文庫本の大きさに相当するA6サイズの厚紙にICタグを貼付したもの（右ページ参照）に変更となる。

電子車検証では、変更登録等による記載事項の変更を伴わない基礎的情報（A）のみの記載となる。その他の車検証情報はICタグ（B）に格納される。ICタグに格納された情報は、汎用のICカードリーダーや読み取り機能付きスマートフォンで参照可能。

二次元コードは券面に印字するが、

従来二次元コードから取得可能であった情報のうち、「自動車検査証の有効期間」のみ確認することはできず、ICタグから取得することになる。

運輸支局等へ出向くことを極力少なくする目的で導入される電子車検証（手続きの流れは右ページ図）だが、2023年1月以降でも券面記載事項に変更がある場合は、新たな電子車検証の交付が必要となり、運輸支局等へ出向くこととなるため注意が必要だ。

また、車検証の電子化に合わせて、前述した「車検証の有効期間を更新する仕組み」として、継続検査に係る自動車検査証への記録等に関する事務（特定記録等事務）及び自動車検査証の変更記録に関する事務（特定変更記録事務）を、一定の要件を備える者に国土交通大臣が委託する制度（記録

等事務委託制度）が創設された。

このうち、継続検査時に車検証への記録を行う、特定記録等事務の委託を受ける（＝記録等事務代行者になる）ためには、運輸監理部長もしくは運輸支局長の承認を受ける必要があり、2023年1月以降はオンラインでも委託申請が可能となる。

現状、新車ディーラーを中心にICカードリーダーの需要は高まっており、また指定工場では運輸支局等へ出向くことなく、継続車検時に車検証の書き換えが行えるメリットの他、たとえばお客さまが新しい車両に買い換えた場合、その車検証情報を閲覧アプリを通じて電子情報として便利に扱えるので、できるだけ早いうちに記録等事務代行者への申請・環境構築を行っておくのが望ましい。



2023年1月4日より

車検証 が 電子化 されます



券面記載事項 (A)

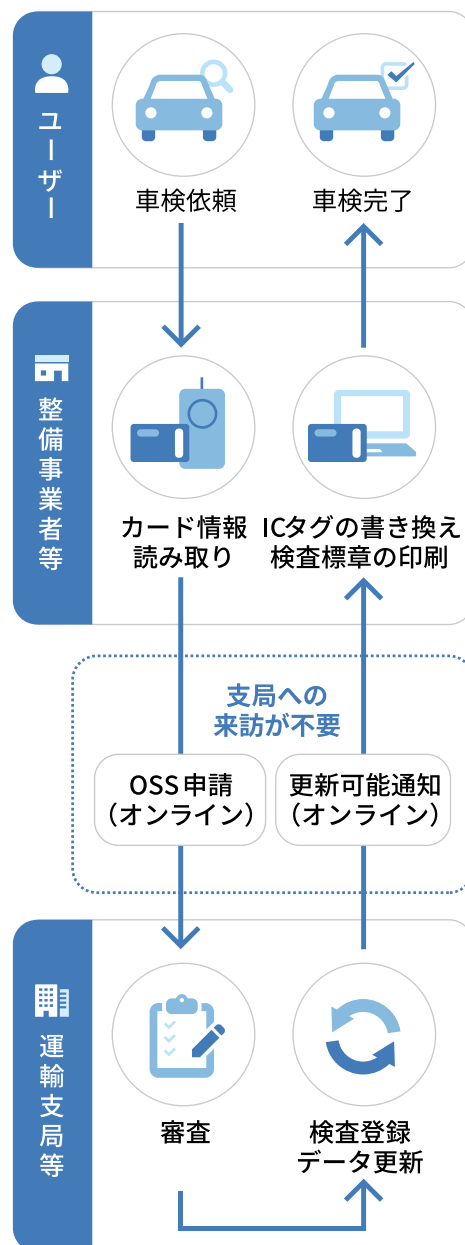
自動車登録番号／車両番号	燃料の種類
車台番号	総排気量又は定格出力
交付年月日	自家用・事業用の別
使用者の氏名又は名称	用途
車名・型式	乗車定員／最大積載量
型式	車両重量／車両総重量
自動車の種別	軸重（前前・前後・後前・後後）
長さ／幅／高さ	初度登録年月／初度検査年月
車体の形状	車両識別符号（車両ID）
原動機の型式	※車両ごとに不変の番号として電子化に伴い付与

券面非表示事項 (B)

(すべてICタグに記録)

自動車検査証の有効期間	使用者の住所
所有者の氏名・住所	使用の本拠の位置
帳票タイプ	

2023年1月以降の継続検査の流れ



そこが知りたい 業務に直結する車検証電子化のポイント



誰しも新しい取り組みに対しては不安がつきもの。ここでは
いざ車検証が電子化されて戸惑うであろうポイントに絞って
Q&Aをまとめた。

電子車検証特設サイト

<https://www.denshishakensho-portal.mlit.go.jp/>

質問 1

電子車検証の現物はいつ・
どのタイミングで交付される？

回答 1

2023年1月4日以降に初めて迎える継続検査申請時に現行の紙車検証が回収され、新たに電子車検証が交付される。これは認証工場はもちろんのこと、この時点で特定記録等事務代行者として委託を受けている指定工場であっても、現在と同様に運輸支局等へ出向くこととなるため、注意が必要である。なお、継続検査以外にも、現在新たな車検証が交付される手続きを2023年1月4日以降に行った場合は、電子車検証が交付されることとなる。

質問 2

電子車検証の初回交付には、
ある程度の時間を要する（＝
待ち時間が増える）のか？

回答 2

電子車検証発行の際は、ICタグへの記録等も行われるため、現行の紙車検証発行よりも時間を要する。各運輸支局等には、発行にかかる時間及び業務量等を踏まえて機器を配備しており、職員の習熟研修も実施しているが、そこから遠くない時期に車検繁忙期である3月を迎えることもあるため、申請の業務平準化への協力及び引取から納車に至るまで余裕を持ったスケジュールを組むよう心がけたい。

質問 3

指定工場であっても、2023
年1月までに特定記録等事
務代行者登録や各種機器の
準備が完了していなくても実
務上は問題ないのか？

回答 3

1月以降に車検を迎える時点でユーザーが電子車検証を所有していない場合は、回答1にあるように特定記録等事務代行者として委託を受けている指定工場であっても、現在と同様に運輸支局等へ出向く必要がある。また、特定記録等事務の委託は任意であり、現在行っている申請方法が残るため、実務上問題はない。ただし、早めの準備を考えている場合は、すでに委託の申請受付は開始されているため、確認いただきたい。なお、1月以降、専用ポータルサイトが新設され、委託の申請をオンラインで行うことが可能となる。

質問 4

今回の車検証電子化の恩恵
を受けるためには新たな機器
の購入も必要になる。購入
後の後追いであっても、補助
金の予定はないのか？

回答 4

現時点において、国交省においては補助金等の制度を設ける予定はない。記録等事務の委託申請については申請手数料はかからず、委託を受けて実際に事務を行うことになった際に利用するアプリの利用料及び特定記録等事務代行者にて交付することとなる検査標章の台紙についても無料となる。また、新たに必要となる機器としては、主にICカードリーダーライタだが、さほど負担にはならない価格で導入できると考えられる。

国交省に聞く 車検証電子化の詳細

開始目前に迫りながらもなかなか全容の見えない車検証電子化について、国土交通省 自動車局整備課の杉崎友信 整備事業指導官に話を聞いた。

国土交通省 自動車局整備課
整備事業指導官
杉崎友信



—— 特定記録等事務の委託申請受付の最新の申請件数は？

令和4年5月に記録等事務の委託申請を開始してから、9月末時点で163件委託している。その内訳は、特定記録等事務のみが117件（うち指定整備事業者115件）、特定記録等事務と特定変更記録事務の両方が40件、特定変更記録事務のみが6件となっている。最新の委託件数については、電子車検証特設サイト（→10ページ参照）にて定期的に更新していくので、参照いただきたい。

なお、記録等事務の委託申請について、現在、電子申請ができるよう専用のポータルサイトの準備をしており、令和5年1月から電子申請を開始予定となっている。電子申請が可能となれば、委託件数も増加してくると思われる。

—— 指定工場については、いつ・どのタイミング・どのような方法で、電子車検証との入れ替えを行うのか？

令和5年1月以降、初めて行う継続検査等、車検証が更新されるタイミングで、紙の車検証から電子車検証に切り替わる。初めて電子車検証の交付を受けるには、従来どおり運輸支局等へ出向いていただく必要がある。

—— 認証工場の手続きについて何か変更点は？

車検証の電子化後も従来通り運輸支局へ出頭手続きが必要で、開始後最初の継続検査で電子車検証を受け取ることになる。

—— 制度が始まる年明け直後はもちろん、3月には車検の繁忙期を迎える。手続きに要する時間は長くなる？

現在、運輸支局・事務所等に電子車検証に対応した機器を配備しているところであり、随時、職員の習熟研修を実施し、令和5年1月に円滑にスタートできるよう努めている。ただし、導入当初は不慣れなこともあり、申請者にはご迷惑をおかけするかもしれないが、ご容赦いただきたい。

—— 特定記録等事務の委託申請と同時に並行でOSSの利用登録を予定している事業者も多いはず。タイムスパンはどの程度か？

OSSの利用登録については、整備事業者向けには一括利用者システムが主に関係し、そのシステムの利用登録に当たっては申請代理人への申込が必要となってくることもあり、特定記録等事務の委託申請も併せて概ね約1ヵ月程

度かかるのではないかとと思われる。

実際の利用に当たってはOSS申請に慣れていただいていたほうがよりスムーズに特定記録等事務も行うことができると思う。まだOSSを利用していない事業者におかれては早めにOSSをご活用いただくのが良いと思う。

—— （指定工場が）電子車検証（ICタグ）の読み取り・書き換え業務を行うには、ICカードリーダー・ライター、検査標章を印刷するプリンター等が必要になる。補助金の予定は？

記録等事務を行うためには、ご指摘の通りICカードリーダー・ライター、検査標章を印刷するプリンター、パソコン（Windows10、11対応）などが必要となる。ICカードリーダー・ライターや検査標章を印刷するプリンターに関し、動作確認を実施した機種については、電子車検証特設サイトに公表している。今後、動作確認ができた機種があり次第、追加していく予定。これらの機器は、できるだけ汎用品で利用できるものとしており、当該製品の導入のための補助金は設けられていない。なお、記録等事務の委託申請には、申請手数料はかからず、委託を受けて実際に事務を行う際に利用するアプリの利用料も無料の予定である。

ICカードリーダー・ライタの 選定と準備

車検証電子化の恩恵を受けるために必須となるのがICカードリーダー・ライタである。何を導入し、どう準備すればよいのかを紹介する。



電子車検証の閲覧から、読み込み及び書き込みを行うにあたってはICカードリーダー・ライタと呼ばれる機器が必須である。指定整備工場であれば、なるべく早い段階での選定が求められる。

ICカードリーダー・ライタ選びで重要なポイントは以下の2点である。電子車検証はA6判のため、非接触型でなければ読み込むことができず、必ず非接触型の機器を購入する必要がある。また、ISO/IEC 14443 typeA、PC/SCインターフェースの規格に準拠する機器が条件となっている。

国土交通省が開設する電子車検証特設サイトでも動作確認実施済みのリーダー・ライタの一覧が掲載されており、購入にあたっての参考になるだろう。また、自動車整備機械工具の販売会社でも取り扱うところが増えており、営業マンと相談しながら購入すると間違いはないはずだ。バンザイでは「CIR315A02 電子車検証用ICカードリーダー・ライタ」(右)を販売する。もちろん非接触型の製品で、様々なOSに対応が可能である。安全自動車は電子車検証の専用スタンドが付いたICカードリーダー・ライタを発売した(13ページ参照)。電子車検証を上からスタンドに入れるだけで読み取り位置に配置されるよう工夫されている。

すでにお持ちのICカードリーダー・ライタやNFC対応スマートフォンを使用する場合、一度販売店やメーカーに問い合わせることが望ましい。使用可能だと思っていっても、実は対応できないという可能性も否定できないからだ。

アプリのインストールなどの 事前準備

ICカードリーダー・ライタを使用するには、使用するパソコンに専用ドライバーのインストールが必要だ。また、専用アプリのダウンロードも忘れてはならない。車検証の内容を閲覧する際は車検証閲覧アプリを、記録等事務代行者において車検証の更新、検査標章等の発行を行うには、記録等事務代行アプリをインストールする必要がある。

いずれも国土交通省から提供される(実際のインストールはアプリストアから実施)、2023年1月より利用が開始される。これらのアプリがパソコンなどにインストールされていなければ、車検証の閲覧や車検証の更新が行えないので、事前の準備が必要だ。

車検証情報はPDFを含め、ファイルの出力と保存が可能である。部品の手配などで、これら車検証情報を保存する機会が多いと思われるが、その際は個人情報保護の観点から細心の注意が必

要である。車検証の閲覧や情報の更新を行う際は、管理体制を整えた上、使用するパソコンを制限すると事故のリスクは減らすことができる。

ICカードリーダー・ライタ自体の管理もまた然りである。事業所の規模によっては複数のICカードリーダー・ライタが必要なケースが出てくるが、小規模工場でも、突然の故障などが生じると、検査業務がストップする可能性があるため、ICカードリーダー・ライタは複数台数の所有が望ましい。



バンザイが発売した電子車検証用
ICカードリーダー・ライタ

注目の電子車検証対応ICカードリーダー・ライタ マクセル「M-1850S-NS」

販売元＝安全自動車

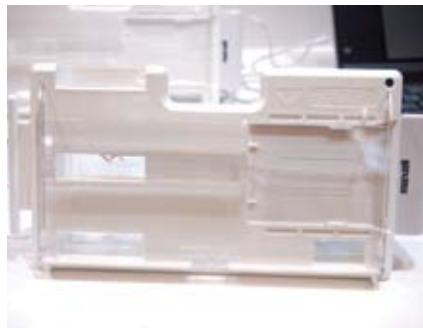
成形技術を活かしたスタンドが付属

最大の特長は本体に加えて、電子車検証の読み取りに便利なスタンドが付属すること。通常のリーダー・ライタであれば、本体の上に車検証（のICタグ部分）を置いて読み取ることになるのだが、風で飛んでしまう場合もあるだろうし、車検証自体がコンパクトになったことも相まって今まで以上に車検証自体を折りたたむ人が増えることが予想され、そのように山折り・谷折りになった車検証を水平に保つのはなかなか容易ではない。

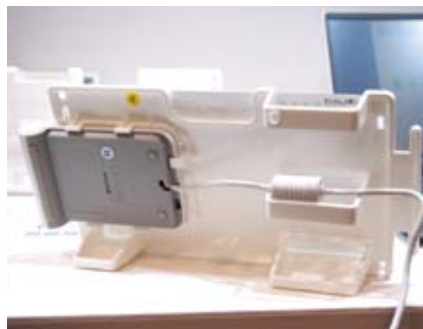
こんな時、本製品のスタンドならば車検証を差し込むだけで風の影響を受けにくく、ICタグ周辺の水平も保たれ、ストレスなく読み取りができる。

マイナンバーカードにも対応

また、マイナンバーカードの読み取りにも対応した差し込み場所（スタンド横から挿入）も設けられている上、パソコンとのUSB TypeA接続ケーブルは机の下にあるデスクトップPCから繋ぐのにも便利な1.8mと少し長めになっているのもうれしいポイント。リーダー・ライタ本体の保証期間も3年と長めに設定されているので安心だ（スタンド部分は除く）。



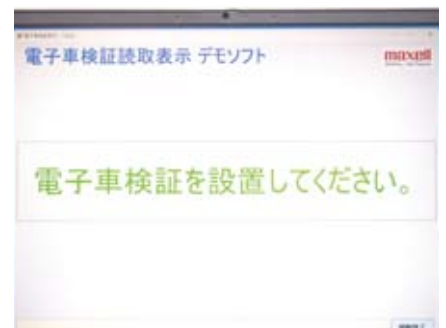
同社の成形技術を活かしたスタンド付



本体はスタンド裏面左側にセットする



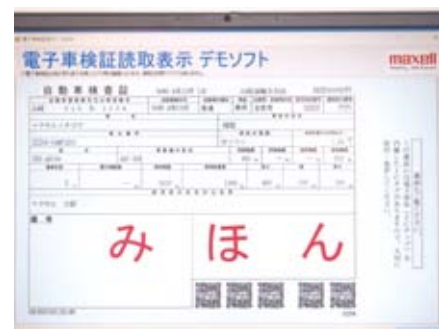
1.8mのケーブルは使い勝手がよい



読み取りは簡単（手順①）



スタンドに差し込んで（手順②）



読み取るだけ（手順③）※

※本画面はマクセルのデモソフトによるものです。正式な車検証閲覧アプリの仕様、画面内容については「国土交通省 電子車検証特設サイト」（→10ページ参照）をご確認下さい。

システム会社に聞く 車検証電子化の影響

車検証情報を扱う上では切っても切り離せないのが、整備工場システムではないだろうか。今回の車検証電子化をどう見ているのか、システム会社を代表して弊社システム開発の責任者である須賀川薫に話を聞いた。

株式会社プロトリオス
IT 事業本部
取締役

須賀川 薫



——元来、車検証と親和性が高かったのが整備工場システムだが、電子車検証との運動については？

電子車検証からのデータ読み込み機能に関しては、現行システムには全部採り入れようと考えている。来年1月の電子車検証スタートに合わせて稼働できるように開発を進めており、今のところ順調に推移している。

ただし、現状で公開されている仕様に沿った範囲でということになるので、車検証閲覧アプリも現時点では公開されていないなど、さらに細かい仕様の公開が待たれるところだ。

——今回、車検証が電子化されることによるメリットはどのようなものがあるのか？

従来であれば、車検証情報の登録には、券面に表示されたQRコードも活用してということだったが、車検証の電子化に伴ってICカードリーダーから取り込む形になると、もともとのQRコードの情報よりも遥かに多いので、車検証の登録が非常に楽になると見ている。

しかも、QRコードを読み取るにはハードが必要で、しかもそれなりの金額だったが、ICカードリーダーならば安いものでは6,000円程度からあるので、コスト

面でもユーザーの恩恵は大きいと思われる。

——車検証の電子化はどちらかというと指定工場のメリットのみが強調されているが、こと整備システムとの連携を考えれば認証工場にもメリットはあるという理解でよいのか？

たしかに、運輸支局に出向かずとも車検証の書き換えができるという、指定工場のメリットが強調されているため、今回の車検証電子化について認証工場はあまり認識がないのかもしれない。しかし、他社もそうだと思うが、我々のシステムは基本的に車検証情報の登録補助のために電子車検証を活用して、登録を自由にスムーズにやってもらいたいという狙いがある。

たとえば、認証工場でもそれが初めて入庫した車両であれば、当然情報の入力が必要で、従来は手入力だった手間が省けるというメリットは大きいはずだ。ということで、指定工場だけでなく認証工場でも間違いなくお使いになるだろうと見越している。



——電子車検証のICタグから情報を取り込む上での、自社システムならではのシステムの強みは？

今まで備考欄のところにいろいろと載っていた情報を、メモ機能で入力していたユーザーもいたが、ここも今回の車検証電子化で簡単に取り込める形になったので、ユーザーにとっては分かりやすい、便利にはなると考えている。

——ICカードリーダー・ライタが活躍するのが、次の車検の1年後ないし、2年後という認識でいる事業者が多いようだが？

2023年1月以降、新車・中古車を問わず、自社で車両を販売すれば、その車両の車検証は電子車検証になるわけで、そこで自社システムへの情報取り込みのため読み取りニーズが発生するはず。たとえ自社でなくても他社で購入した車両が2023年1月以降に初めて入庫する可能性もゼロではない。

いずれのケースでも、ICカードリーダーが導入済みならば、スムーズかつ楽に車検証情報の登録ができるので、早めに備えておくに越したことはないのではないかと。

切り替わった新車検証の ユーザー説明

ここまでは我々事業者にとっての疑問点などを解消してきた。しかし、電子車検証を初めて見るユーザーに対するケアも必須と言える。



登録車と小型二輪の車検証電子化が開始されるまで残すところあとひと月をきったものの、自動車整備業界の動きは鈍い。2023年1月4日以降に行う車検の車検証はまず新車検証に更新するため、当面は、陸運支局へ出向く必要があり、しばらく車検そのものは変わらない。整備事業者の中でも「当面は様子見」という声や「オペレーションを切り替えるのは新車検証が一巡する頃で充分」という意見もあった。このため、ICカードリーダ・ライタの設備投資の動きも鈍い。

果たしてそのような姿勢で良いのだろうか。ユーザーファーストの視点は欠落していないだろうか。

車検証の電子化は国土交通省が特設サイトを開設して周知を行っているが、はたしてどのくらいのクルマユーザーが、その事実を認知しているかは疑問である。比較サイトを運営するウェブ

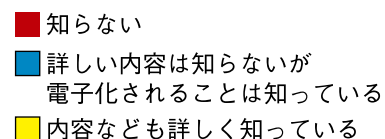
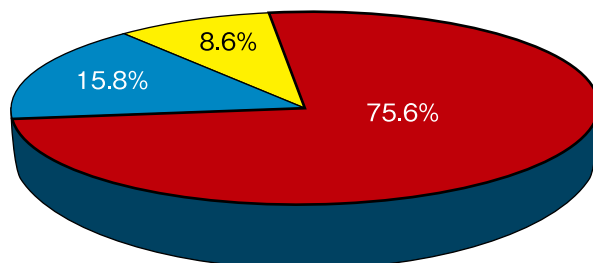
クルーが行った「自動車検査証（車検証）の電子化」に関する調査によると、アンケート回答者1,027人（マイカーを所有している20代～60代の男女を対象）のうち、75.6%の人が「2023年1月4日より車検証が電子化されることを知らない」と回答した。この調査は2022年の9月2日に実施されたもので、車検証電子化が目前に迫った現在の状況とは異なると思われるが、それでも実施の4カ月前の時点で4人に3人のクルマユーザーが知らないという事実は重い。もしかすると、電子車検証に更新されても、「知らない」となるユーザーも出てくるのではないかと危惧するところである。

自動車整備に求められるのは、更新された新車検証の説明である。電子化されたことはもちろん、カードリーダ・ライタで車検証を読み込んで、情報を見ることができる旨を説明する必要がある。

また、ユーザーが車検証閲覧アプリをダウンロードすれば、車検証情報の閲覧、車検証情報ファイルの出力・保存、リコール情報等の確認が行えることも告知をすれば、ユーザーにとっては有益となる。

とりわけ、リコール情報は重要である。タカタ製エアバッグのケースのように、販売から時間が経ってからの大規模リコールもあり、場合によってはユーザーの安全を脅かす可能性もあることから、こうした情報提供は重要である。確かに、普段から車検証を手にするというユーザーはそれほど多くはない。

しかしながら、車検証が大きく変更になったにもかかわらず、それを説明しないのは、不親切ともいえるだろう。換言すると、しっかりと説明してくれた事業者の信頼性は高まるのではないだろうか。



出典：ズバット 車買取比較

MSC 感動夢工場が第 1 回研究会を開催 講師 2 名を招く特別回に

地域社会に貢献し、サービスを通じて顧客に感動を与えるべく、事業経営のあり方を研鑽錬磨する組織「MSC 感動夢工場」（山崎太会長）は、11月15日・16日の2日間にわたりバンザイ本社（東京都港区）などで第1回研究会を開催した。

今回は通常ならば1名の講師を招待するところ、2名を招待する特別回。1つ目は日刊自動車新聞社 取締役 編集本部長の花井真紀子氏による「EVシフトの舞台裏～日本市場のいま～」、2つ目は日本航空 産学連携部事業開発グループの川村絢美氏による「JAL ホスピタルセミナー 客室乗務員が大切にしていること～おもてなしの心の実践～」と題した講演を行った。



日刊自動車新聞社 取締役編集本部長
花井 真紀子氏

1. 押し寄せるEVシフトの波

これだけ世界がEVシフトへと進むのも、世界的にカーボンニュートラルへの気運が高まっているに他ならない。英国グラスゴーで開かれた国連気候変動枠組み条約第26回締結国会議（COP26）ではHVを含むガソリン車の新車販売を2040年までに停止する宣言に23カ国が同意したものの、自動車市場規模が大きい中国、アメリカ、日本、ドイツは宣言に同意しなかった。しかし、新車販売をEVやFCVといった走行時に温室効果ガスを排出しないゼロエミッション車（ZEV）のみにする規制が世界的に広がれば、グローバル展開している自動車メーカー各社は対応を迫られる。

EVシフトの舞台裏～日本市場のいま～

同意こそしなかったものの、政府は補助金や優遇制度でEV・軽EV・PHV・FCVの購入補助を促し、EV・PHV利用者にポイント還元をする仕組みを2024年度にも導入を検討するなど、日本でも確実にEVシフトは進んでいると言ってよい。

2. EVシフトで何が変わる？

EVシフトとともに、クルマのコネクテッド化が進んでおり、車載ソフトウェアの更新も通信を使って行うことから、クルマのスマホ化が進んでいると言っても過言ではない。同時に自動運転化のレベルも世界的規模で競争が激化している。一方でクルマの自動運転化のその先には、空飛ぶクルマの実用化やドローンによる物資の配送といった未来も現実化してきている。

3. 大波を乗り越えるために

EVシフトという大波を乗り越える＝チャンスをつかむためには良い準備

が必要である。自社単独で乗り越えるのが難しいのであれば、連携を組むということも必要である。自動車リース業界でも大手4社が、整備工場の入庫管理システムの共通化に向けて手を組み始めているし、オートバックスセブンとBSサミット事業協同組合が包括的業務提携により整備ローカルネットワークの構築を目指したのも記憶に新しいところだ。

どんな方針を取るにせよ、最終的にはお客さまの声に耳を傾け、そのニーズに応えるのが間違いない。新型コロナウイルスのワクチン接種にしても、電話予約に頼れずさりとて予約WEBサイトの操作にはついていけない高齢者のために自治体が窓口を開設してサポートした事例などもある。

車両そのものが高度化していけば、ついていけないユーザーも必ずいるはずで、こうしたユーザーのガイド役になることを目指すのも自社が生き残るヒントともなるだろう。



業界誌の役割はまだまだ健在なり

媒体の電子化が一気に進みかねない紙の値上げ

連日ニュースを賑わせているのは、「来月から〇〇が値上げになります」という値上げに関するニュースである。もはや値上げしていないものを探すほうが難しいのではないかという状況ですらある。値上げの波は生活必需品に留まらず、我々出版業界にも直撃しており、2022年だけでも雑誌に使用する紙の値段が二度も上がっているのだ。

噂では2023年に入ってから早々に再び値上げがあるのでは？ともささやかれている。こうなると、ただでさえ印刷代・紙代も掛からずに、広範囲にアピールできるメディアとして紙媒体からWEB媒体への切替が盛んだというのに、今後も紙代の値上げにおびえ続けるよりはと、より一層WEB化の流れが加速するのではないかと見ているのだがはたして……？

整備業界はまだまだ紙媒体を求めている？

しかし一方で、我々にとっては嬉しい話も聞いた。今回、誌面ではさまざまな製品を紹介している。そのうちの某製品について、取り扱いの商社はそれが自慢の一品ということもあり、他の業界誌はもちろん、展示会や内覧会あるいは自社のWEBサイトを通じて大々的にアピールをしていた。それこそ、もはや業界内でその製品を知らない人はいないでしょうというぐらいの勢いでいた。

にもかかわらず、担当者曰く「〇〇という商品が出ていると聞いたのですが、どんな商品なんですか？」という問い合わせが後を絶たないとして、落胆の色すら見せていたのだ。

言ってしまうと、WEBメディアは無限にアピールできるように見えて実は限界があって、基本的にその情報がそのページにあるとあらかじめ分かっている人が閲覧するか、検索の結果たまたまそのページに行き当たった人が閲覧するかであって、いずれにせよ能動的にそのページを見に行かなければ閲覧されることはないのである。裏を返せば、何もアクションを起こさなければその人には何も伝わらないというわけだ。

片や紙媒体であれば、何とはなしにパラパラめくっていたとしても、そこに載っている情報が否が応でも目に飛び込んでくるという効果も期待でき、なおかつそこで初めて商品の存在を知って、「じゃあより詳しく調べてみよう」とWEBで検索をかけるというケースは往々にしてあり得るのだ。すなわち、理想としてはWEBメディアと紙媒体どちらか一方に偏るのではなく、併用するのが効果的なのである。

以上のことを踏まえると、今回たまたま話題に上った冒頭の商品は、まだまだ紙媒体によるPRの余地があると言えるわけで、手前味噌ではあるが今回こうして新媒体を立ち上げることに充分意義がある、すなわち我々の役割もまだまだ必要とされているに違いないと確信し、ほっと胸をなで下ろした次第である。

自身三度目の創刊立ち会い 三度目の正直なるか？

最後に、筆者は業界誌記者・編集者を経験して約20年になるが、今回が自身三度目の創刊立ち会いとなる(有料購読誌→無料化を含む)。奇しくも、会社としても整備業界向けの媒体としては実はこれが三度目となる。ぜひとも三度目の正直となるよう、努力してまい



第0回

プロローグ

コロナ禍というより一層厳しい環境だからこそ、会社を潰さないこと、後継者を育てることが経営者の務め。自身のマナーを率先して見直してみては？

このたび、初めて皆さまとお会いいたします、わたくし「原田さとみ」と申します。

本連載は「マナー講座」と銘打っていませんが、「儲けるため」とストレートな表現が使われておりますが、企業経営者にとっては必須のことです。

私も26年間トップを務め、色々な経験とたくさんの事業所を見てまいりました。経営する楽しさも、勘弁してほしいと思う気持ちも知っています。そのような私だからこそ、皆様の社外参謀としてお手伝いをしてまいります。まずは、経営者&幹部が礼儀作法・ビジネスマナーを心がけることが一番の近道です。騙されたと思って、1年間お付き合いください。

経営者のみなさまが置かれている今の環境は、綺麗事など言っている場合ではない時代です。コロナ禍の状況下に加えて円高まで起こり、まさに厳冬の戸外に夏服で放り出されたような現状です。どんな状況でも経営者の務めは二つ。

①会社を潰さないこと。

②後継者を育てること。

これを一緒に実行してくれるのは、「社員」です。その社員さん達に、「うちの社長はカッコイイ」、「うちの社長は尊敬できるんだよ」、「うちの社長が好きなんだ」、「あの社長と一緒に仕事がしたいか

ら、付いていきたいから……」と言われていたことと思います。

人は【好きな人】にはついて行きます。社長、幹部の皆さん「あなたが好き」と思ってくれている社員さんは何人いらっしゃいますか？ 予測困難な時代の舵取りをする社長には、それを乗り越えるための仲間が必要です。その一番は、身内である社員さん達です。

彼、彼女たちから「うちの社長は素敵なお人」と思ってもらえることが大事ではないでしょうか。そのために、当たり前で簡単なことばかりですが、意外と意識されていない礼儀・所作・マナーと言われるものを、この場で一緒に見つけていきませんか？

トップが変化すれば会社も変わる。社長がセンス良くなれば社員もセンスが良くなる。幹部が笑顔になれば、社員も微笑む。社内に笑い声があれば、お客さまも呼び寄せる。すべて社長の姿勢が伝播します。さあ、今からスタートいたしましょう。



筆者プロフィール

原田さとみ

自動車リサイクル業の社長を26年務めた後、その経験で培った社員教育に関するノウハウを地元高松市はもちろん、日本全国の中小企業に還元し、元気になってもらいたいと日々活躍中。マナー教育を入口とした手法は、母親が子供に諭すような語り口も相まって全国にファンが増殖中。



有限会社 早蕨 (さわらび)

090-8281-6588

受付時間/10:00~18:00

在宅・リモートワーク時代の新しい人材育成「リベラルアーツ教育」を展開中。リベラルアーツ（多様な知識を学ぶ）教育を行う目的は、広い視野で物事を判断できる力を養うことです。詳細はこちら↓

<http://sawarabi.biz>

OBD

ADAS

ミリ波レーダー

コネクティッドカー

LiDAR

ECU



エイミング

スキャンツール



電子制御 装置整備 の基礎知識

定価

3,520円

(税込、送料無料)

A4変形判 オールカラー
120ページ

お問い合わせ・ご注文は、
お近くの塗料・機械工具販売店
もしくは弊社までお願い致します。



PROTO RIOS
株式会社 プロトリオス

〒541-0046 大阪市中央区平野町 2-3-7
TEL:06-6227-5661 FAX:06-6227-5664
ホームページ <https://www.proto-rios.co.jp/>
郵便振替口座番号 00950-2-314686



第0回 あなたの会社、10年後も存続していますか？

大きく変化している自動車流通市場。100年に一度の変革期とはよく言ったもので、ガソリンエンジン世界初の量産車であるT型フォードがアメリカで販売されていたのは、今からおよそ100年前に当たる1908年～1927年。その100年前は蒸気機関だ。

そして現代に至っては、CASE（コネクテッド・自動運転・シェアリング・電動化）と呼ばれる自動車大変革が今後の整備業の市場を大きく変えることは間違いない。メーカー主導のマーケットとなるため、我々整備業の市場は縮小する。さらに少子高齢化によるドライバー人口の減少、若者の車離れが市場の縮小に拍車をかける。我々整備業にとってのこれからの10年は、何もしなければ売上も利益も全て10%以上減少するという厳しい現実が待ち受ける。今後の縮小市場の中で、我々整備業が生き残るための活路は顧客増大とLTV（ライフタイムバリュー）の最大化しかない。いかに自社が保有する基盤顧客を増やすか、そしてその顧客に自社のサービスを数多く利用

いただけるかがカギとなる。

ディーラーをはじめ大手販売店やカー用品店との顧客囲い込み合戦は既に始まっている。その明暗を分けるのは車販である。整備工場の顧客が他社に流出する理由として代替えによるものが10%以上を占めており※1、どんなに顧客を大切にしている、車販のできない整備工場は顧客の数を維持することができず淘汰されるだろう。整備工場にとって車販の推進は、まさに待ったなしの状況なのだ。

「整備工場が車販を推進するにあたり、最も重要なのは？」各地で講演を行うと必ず受ける質問だ。新規顧客獲得のためのネット販促や折り込みチラシなどの集客施策、他社との差別化のためのリースや低金利ローンの導入、どれも重要ではあるが、まず初めにやるべきは、自社の基盤顧客の代替促進だ。コストをかけて新規客を探す前に、まず足元を見てほしい。車検や整備で長年付き合ってくれているお客さまは自社で車を買って替えているだろうか。

先の計算の通り、自社の顧客の中

でも1年間に乗り換える顧客は14.2%存在する。つまり顧客を1,000台持つ整備工場の場合、142台/年はどこかで乗り換えていることになる。

ということは、基盤客に142台販売できていない整備工場は、販売チャンス逃しているばかりか、ディーラーなど他社への代替流出のリスクを大きくはらんでいるのだ。

逆に考えると、新規の顧客を追いかけなくとも、基盤客を対象とするだけで大きく車販を伸ばせるのだ。顧客1,000台を持つ整備工場の場合、年142台販売し、台当たり利益20万円で年2,840万円の利益が見込める計算となる。基盤代替率14.2%に達していない整備工場の経営者には、ぜひポジティブに基盤顧客の代替促進に注力いただきたい。

来春3月よりスタートする当コーナーでは、整備工場が車販を推進するにあたり必要となる戦略や戦術、具体的なテクニックをご紹介したいと考えている。乞うご期待！

※1 日本自動車工業会の2019年度乗用車市場動向調査による代替サイクルは7年。1年で14.2%が代替する計算となる。



筆者プロフィール

株式会社チームエル 取締役CMO。2006年に愛車広場カーリンクのチェーン展開開始と同時に、カーリンク基礎研修の開発に着手、その後も直営店の出張査定センターのマネジメントやディーラーコンサルティングなど、幅広く様々な仕事を経験、2014年からはCaSSの会員制度を立ち上げ、会員向けのサービスや企画を開発。

絶対に失敗できない 整備がそこにはある



ハイブリッド車と 先進安全装置の 基礎知識

定価
3,520円
(税込、送料無料)
A4変形判フルカラー
120ページ



巻末資料
プロトriosオリジナル
ASV問診票



※「ハイブリッド車整備の基礎知識」「プラグインハイブリッド車電気自動車整備の基礎知識」はおかげさまで完売致しました。

取引先、直需客にも使える！
コピーして繰り返し使える！

お問い合わせ・ご注文は、
お近くの塗料・機械工具販売店
もしくは弊社までお願い致します。



PROTO RIOS
株式会社 プロトrios

〒541-0046 大阪市中央区平野町 2-3-7
TEL:06-6227-5661 FAX:06-6227-5664
ホームページ <https://www.proto-rios.co.jp/>
郵便振替口座番号 00950-2-314686

磨き作業の哲学的思考



過去3回にわたる連載に
「メンテナンス編」を追加

 PROTO RIOS

磨き作業の哲学的思考 「科学的アプローチ」

金子幸嗣 著

B5判 / 172ページ / フルカラー / 定価5,940円 (税込・送料別)

2017年からBSRで連載している人気寄稿に
新たにポリッシャーやバフの「メンテナンス編」を
書き下ろしで加え、1冊にまとめました。

お問い合わせ・ご注文は、お近くの塗料・機械工具販売店もしくは弊社までお願い致します。

 **PROTO RIOS**
株式会社 プロトリオス

〒541-0046 大阪市中央区平野町 2-3-7
TEL : 06-6227-5661 FAX : 06-6227-5664
ホームページ <https://www.proto-rios.co.jp/>

新刊

好評発売中

磨きに悩む
技術者必見の書

キレイで
速くなる



磨きの本質が分かれば

購入者限定

本文中のQRコードを
読み取ると
解説動画が視聴
できます



／ちよつとだけお見せします!!!／

新刊

大好評発売中!!

スキャンツールの 基礎知識

スキャンツールでできること
空燃比制御信号を使用した
エンジン診断方法

作業サポート機能で作業を楽に
カスタマイズ機能で愛車を顧客の好みに

スキャン
ツールとは

故障診断機能を活用した
トラブルシューティング

故障診断 機能を活用する

なるほど!よくわかる!

スキャンツール 活用講座

令和3年度施行 新点検基準対応 山岡丈夫 著



PROTO RIOS

『スキャンツール活用講座』

山岡丈夫 著

B5判/168ページ/フルカラー 定価3,080円(税込・送料無料)

2017年からBSRで連載している

「先進技術の知識と整備」に

新しい項目を書き下して1冊にまとめました。

令和3年施行 新点検基準対応!!

実践編

スキャンツール活用

データ表示機能を活用したトラブルシューティング

エアコン整備

自動ブレーキ車の

構造作動と車体整備

ヘッドランプ整備・調整

フロントバンパー交換後の作業

先進技術 対応

故障診断

データ表示アクティブテスト作業サポート
エンジンの診断

お問い合わせ・ご注文は、お近くの塗料・機械工具販売店
もしくは弊社までお願い致します。



PROTO RIOS
株式会社 プロトリオス

〒541-0046 大阪市中央区平野町 2-3-7
TEL : 06-6227-5661 FAX : 06-6227-5664
ホームページ <https://www.proto-rios.co.jp/>
郵便振替口座番号 00950-2-314686

いづみの車検予約やってみた

第0回

車検予約システムを 作ったのは どんな会社?



totoco

はじめまして! 株式会社ヤマウチの人見いづみと申します。さぬきうどんで有名な四国香川にて展開しております、スーパー整備工場ラチェットモンキーの責任者をしつつ、弊社でこしらえましたクラウド型車検予約管理システムtotoco(とっこ)を全国に向けて販売したり、整備工場のDX化や集客などをベースとした講演活動などを行っております。この度、ご縁がございまして、MSRにてコラムを受け持つこととなりました。以後お見知りおきますよう、よろしくお願いいたします。

私は現場たたき上げの30年選手です。1994年に施行されたニューサービスに感銘を受けた当時の上長が、全国に先駆けて立ち会い車検をメニュー化したものの、メカニックから大反発を食らい、なんと全員が退職するという、とんでもないドラマチックな経験をいたしました。自分で言うのもなんですがハードモードな仕事人人生の幕開けですよ(笑)。

当時の上長とハタチそこそこの私。たった2名からスタートしたラチェットモンキーですが、今では約50名の大所帯となり、年間6千台の車検&3店舗運営。年商10億円以上をたたき出すことができる部署にまで成長することとなりました。

成長の要因はクルマ業界にこだわらず、さまざまな情報を絶えず収集し、小さな挑戦をコツコツと積み重ねた結果であると思っています。どんな有益な情報を入手したとしても、行動に移さなければ成功の果実を手に入れることはできません。私は、今まさに、現在進行形で、「とにかく動く」この心意気を持ってラチェットモンキーを運営いたしております。

このようなことを書きますと「人見さんってイケドんなマネジメントをしているのね……」なんてお感じになるかもしれま

せんが、そうではございません。私は、実のところを申し上げますと、大層な怖がりです。失敗しても自分で責任を負える範疇でしか挑戦することができません。ですから、「小さな挑戦しかできない」と読み替えていただいても良いかもしれませんね。

しかしですね、この積み重ねが、現在の私に繋がっているわけです。コラム執筆とか、システムのローンチなど、振り返って見ると、なかなか大きな挑戦をしています。人生ってホント分からないもんでございます(笑)。

また、私は店舗のフロントに立って仕事をしていた頃合いからムダな作業が大嫌いでした。「どうやったら手を抜くことができるんだろ……ラクしたいなあ……」こればかり考えておりました(笑)。この不真面目さがDX化を呼び込むのですから、大層オモシロでございます(笑)。

こちらのコラムでは、整備士資格を持っていないどころか、エアチェックすら満足にできない私が、自らの現場経験から生み出したクラウド型車検予約管理システム、今では同種のシステムが多くの会社からリリースされていますが、これらを単に導入しただけでは分からない成功の秘訣について記してまいります。どれほど皆さまのお役に立つことができるかわかりませんが、お茶請け程度にお付き合いいただけましたら幸いです。

文末になりましたが、プロトリオス社の皆さま、このたびは新媒體の発刊、おめでとうございます。整備工場の皆さまにとって、有益な情報誌になること、間違いございませんね! 業界でも珍しいフリーペーパーでの情報発信に、今後期待しかございません♪



筆者プロフィール 人見いづみ

メカニック全員が退職するという、悪夢のような経験を経て、たった2名からオリジナルブランド「ラチェットモンキー」を立ち上げ、3店舗・年間のべ利用客数28,000人・車検台数6,000を実現。現在は自社開発した予約システム「totoco(とっこ)」を販売しながら、講演活動にも取り組む。

株式会社ヤマウチ

<https://totoco.biz/>

BSRweb

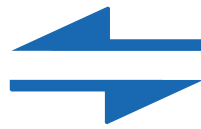
BODY SHOP REPORT WEB

で瞬時につながる アフターマーケット最新情報。

BSR 本誌で掲載しきれない情報満載。

BSR

For Body Repair Business



BSRweb

BODY SHOP REPORT WEB

BSR 本誌と連動

新製品、ニュース、
インタビュー、トピックス、
コラム、イベント、車販、特集など
情報満載です。

YouTube

BSRwebTV

BODY SHOP REPORT WEB TV



業界最新ニュースや技術動画など
写真では伝えきれない情報を
動画でより詳しく、楽しくお届けします。



チャンネル登録はこちら



BSRweb

BODY SHOP REPORT WEB

PC・スマホで今すぐアクセス！

BSRweb





第0回

補助金の先にある M&Aという選択

実践M&A
こんな時どうする？
具体的なノウハウを伝授！

フォーバル 寺越基格

大廃業時代の到来、経営者の高齢化や後継者不在により、2025年には日本全体で127万社が廃業を迎えるとも言われている。また、大手信用調査会社の調査では2021年の後継者不在率は約60%とされている。

自動車業界についてはどうだろうか。弊社が2020年5月より実施した自動車整備業界動向調査レポートでは、全体の47.7%が後継者不在と回答しており、全業種よりも割合は小さいものの、それでも大廃業時代の到来は自動車業界においても無視できない問題になっている。

それどころか、自動車業界においてはさらに多くの課題を抱えている。近年の若者の車離れ、車の所有から使用へ変化することによる、「①経営の悪化」、整備学校の卒業生の減少やディーラーへの人材集中に伴う「②人材不足」、OBD車検、ガソリン車の縮小、カーエレクトロニクス等様々な環境変化に伴う「③技術革新への対応」、そして「④後継者不足」この四重苦を自動車業界は乗り越えていかなければならない。

今年度、弊社の自動車アフターマーケットチームでは、この四重苦を

「自社だけで乗り切るか、他社と組んで乗り切るか」というテーマで多くのセミナーを実施している。自社だけで乗り切るには、補助金の活用が有効であり、事業再構築補助金やものづくり補助金の申請サポートを行っている。

ただ、全ての企業が自社だけで乗り切れるわけではない。資金力、ノウハウなど多くの課題があり、他社と組んで乗り切る方が望ましい場合もある。この場合の有効な手段がM&Aである。

M&Aを行うことによって、経営の課題という点においては、例えば、中古車販売会社と自動車整備会社が組むことで、これまで外注に出していた整備の内製化が可能となり、販売会社にとってはコスト削減、整備会社にとっては整備台数の増加につながる。

また、人材不足の面では、ブランド力がある会社と組むことによって、知名度がなかった「A自動車」という会社が、「XグループのA自動車」と名乗ることができ、雇用の安定や新規採用の促進につながる、その他技術革新に対応するための設備投資

の資金やノウハウの問題解決、後継者となる経営者を親会社から派遣してもらえるなど、重要な課題の解決手段となる。

こういった点から、これまでは後継者がいない企業がM&Aで会社を譲渡する選択をしていたが、最近では、自身が社長として残ることを前提に、四重苦に対応するための「課題解決型M&A」の相談が増えている。

実際に弊社がアドバイザーとなってM&Aを実施した整備会社は、M&A後に整備台数は1.2倍（今後2倍を目指す）、従業員数は1.5倍になった。当時の経営者は引継ぎ期間を終えて引退したが、「最後はこれまでががんばったご褒美のような時間だった」と幸せな顔で去っていったそうだ。

M&Aはもはや特別なものではない、会社の存続と成長のための有効な手段である。

本コラムでは、M&Aがどのような手続きで進んでいくのか、その際のポイント、注意点、そして私の経験談として売り手や買い手のそれぞれの心情なども書いていきたいと思います。



筆者プロフィール

金融機関にて中小企業への融資や経営コンサル・M&A実行支援に従事。株式会社フォーバルへ入社後、自動車整備会社をはじめ多くの中小企業のM&A支援に携わり、企業の存続及び成長に貢献。中小企業の創業理念や従業員への想いを重視し、経営者にしっかりと寄り添うコンサルタントとして、経営者からも厚い信頼を受けている。

事業承継・M&Aのご相談はこちら

株式会社フォーバル

事業承継支援部

自動車アフターマーケットチーム責任者 寺越

TEL : 0120-37-4086

<https://forval-shoukei.jp/>



情報

BOX

information box

日整連が第23回 全日本自動車整備技能競技大会を開催



日本自動車整備振興会連合会（竹林武一会長）は、11月26日東京ビッグサイト（東京都江東区）にて、第23回 全日本自動車整備技能競技大会を開催した。本来であれば昨年開催の予定だったがコロナ禍を考慮して本年に延期、通常隔年開催のため3年ぶりの大会となった。

コロナ禍の影響により8チームの出場が叶わなかったが全国から45チームが出場し、実車競技（700点）・基礎競技（100点）・アドバイザー競技（200点）の3種目、3分の準備時間を含む合計90分の競技時間で日ごろ培った整備技能を遺憾なく発揮した。

優勝は新潟県自動車整備振興会チームの石田俊行選手と久保仁選手。久保選手は大会1週間前に急遽エントリー変更となるなど、十分な準備期間も取れない中での出場だったが、奇しくも両選手とも前回大会への出場経験もあってか、前回6位から新潟チームとして初優勝を飾るという立派な成績を収めた。

エア21車検・エアeショップ21 経営者全国会議2022を開催



エア21車検及びエアeショップ21は10月25日、東京マリオットホテル（東京都品川区）にて、経営者全国会議2022を開催。オンライン含む総勢182人が参加した。各取り組みの年間表彰の他、加盟11社の好取組事例が披露された。また、国交省の杉崎友信指導官による特別講演、慶應義塾大学大学院の岸博幸教授による講演「アフターコロナの経済動向と経営戦略」も行われた。

あいおいニッセイ同和損害調査が第6回 GINOCONを開催



あいおいニッセイ同和損害調査は11月4日、あいおいニッセイ同和自動車研究所埼玉センター（埼玉県さいたま市）にて、第6回 GINOCON（全国技能コンテスト）を開催した。同コンテストはお客さま満足度と業務品質の向上実現のため、アジャスターの技術力強化を目指している。団体戦は東京技術調査部が、個人戦は中国四国技術調査部の山本昌生選手が優勝を飾った。

JAERAとJTPがトラック解体作業見学会・意見交換会を開催



日本自動車リサイクル機構は11月10日、トラックリファインパーツ協会と連携して同会の新井栄会長所属の新井商会（兵庫県姫路市）にて、トラック解体作業見学会・意見交換会を開催した。解体ではウイング車の手ばらしからニブラによる実演を披露。意見交換会では、架装物でも使用が進む多様な樹脂の、受け入れ先が不十分な現状とその改善を求める意見が出るなど、活発な意見交換が行われた。

KTC 京都機械工具が2023 SK SALEを開催中



総合ハンドツールメーカー京都機械工具（田中 滋社長、本社＝京都府久世郡）は、2022年11月1日～2023年4月20日まで、工具セットがお得になる「2023 SK SALE」を開催中。1万アイテム以上ある工具の中から、用途に併せてKTCがセレクトした工具セットをお得に購入できるチャンス！

詳細 → <https://sk.ktc.jp>

ホイールアライメント整備機器

🔧 車両を通過させるだけで検査完了

クイック チェック ドライブ・ クイック トレッド エッジ

車両を通過させるだけで、ホイールアライメントの良否を測定（クイック チェック ドライブ=QCD）し、タイヤトレッドデプスを測定（クイック トレッド エッジ=QTE）できる検査機器。測定結果はクラウドに保存されるので、そこからデータを参照し、メール添付で測定レポートを客先に送ることも可能。



イヤサカ TEL 03-3833-6111

東京都文京区湯島 3-26-9 <https://www.iyasaka.co.jp>

大型車両整備機器

🔧 コンパクトサイズな電動式

タイヤリフター

電動でコンパクトなタイヤリフター。タイヤ昇降の電動化で作業者の負担を軽減。動力は充電式バッテリーのため、エアホースは不要。また、ホイール取付時でも回転式ロッドとダンパーで穴位置の微調整ができ、効率的に作業が可能。コンパクトサイズで、作業スペースの限られた店舗でも導入できる。オプションで、タイヤ分解整備に必要なコードレスの動力工具類の収納も可能となっている。



京都機械工具 TEL 0774-46-3700

京都府久世郡久御山町佐山新開地 128 <https://ktc.jp/>

エイミング関連のクラウドシステム

📱 クラウドで作業報告書・診断書作成

EasyLink for cloud

スキャンツールの診断データやエイミング作業完了にあたっての作業報告書を作成する自動車整備業界支援ツール、EasyLink for cloudがイヤサカより発売された。スキャンツールの診断データなどをクラウドに送信することで、本部の事務所内PCからアクセスが可能。修理やエイミング完了を記録した「作業報告書」、「車体整備記録簿」、お客様への「確認書」など、様々な帳票を出力することができる。特定整備により、エビデンスが重要な要素となる時代の必須ツールだ。なお、企画開発はレゾンデートル。お問合せは近くのイヤサカまで。



簡易診断結果帳票見本

発売：イヤサカ / 企画開発：レゾンデートル

一般整備機器

🔧 厚さ 580mm で多層階にも設置可能

イーグルアドバンスリフト

リフト本体の厚さが580mmとなり、多層階にも設置可能な能力4tのパンタ式アームリフト。調光式LEDを標準装備しており、車両へのアームセットや車両下回り作業時の作業環境が向上。また、リフトアップ時のリフト間距離も広く、EVのバッテリー脱着にも有効。



バンザイ TEL 03-3769-6880

東京都港区芝 2-31-19 <https://www.banzai.co.jp/>



フューエルフィルター



トヨタ、日野自動車対応

「AF-298」



トヨタ、日野自動車対応のリプレースタイプのフューエルフィルター。純正番号「23304-78150」相当品。

■ 適合車種

トヨタ ダイナ / トヨエース
2SG-XKU6##,7## N04C-WE 年式 19.05-
2KG-XKC6##,7## N04C-WD.U.V 年式 19.05-
2RG-XZU6##,7## N04C-WD.U.V 年式 19.05-
日野 デュトロ
2SG-XKU6##,7## N04C-WE 年式 19.05-
2KG-XKC6##,7## N04C-WD.U.V 年式 19.05-
2RG-XZU6##,7## N04C-WD.U.V 年式 19.05-

アルプス工業 TEL 0495-72-3131

埼玉県本庄市児玉町田端 390 <http://www.alps-filter.co.jp/>

ディスクパッド



ニッサンのキックス対応

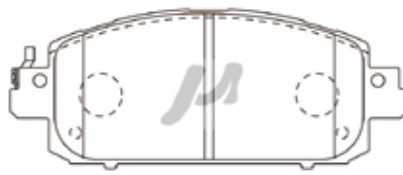
「MN-581M」



ニッサンのキックス対応のディスクパッド。純正番号「D1060-6LA0A」相当品。

■ 適合車種

ニッサン キックスP15 (e-POWER) 年式 20.06-、
RP15,SNP15 (e-POWER) 年式 22.07-



エムケーカシヤマ TEL 0267-66-7785

長野県佐久市長土呂 1091 <https://www.mk-kashiyama.com/>

タイロッドエンドカバー



ダイハツ、トヨタ、スバル、ホンダ対応

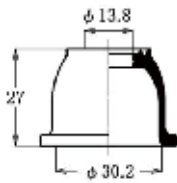
「DC-1167A」



ダイハツ、トヨタ、スバル（純正番号 45479-B2010 (45047-B9220)）、ホンダ（純正番号 06535-T4N-305、52362-S30-003、53546-S84-003 (53560-SNA-A01)）対応のタイロッドエンドカバー。結合品番、適用車種が多いため、嵌合性の再調査を実施し更なる耐久性の向上を目指した。

■ 主な適合車種

ダイハツ（ミラ、ムーヴ、タント）、
トヨタ（パッソ、bB）、
スバル（プレオ、ステラ）、
ホンダ（アコード、フィット）



カシメタイプ

大野ゴム工業 TEL 03-3501-5825

東京都港区虎ノ門 1-8-11 <https://www.ohno5825.co.jp/>

ステップゴム



ホンダスーパーカブ対応

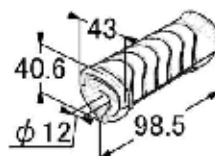
「BPH-2005」



ホンダのスーパーカブ対応のステップゴム。純正番号「50661-KWB-600」相当品。本製品の作業に当たるのは、車体車両メーカーのサービスマニュアルに準ずる知識及び技術を持った者に限る。

■ 適合車種

スーパーカブ
AA04、AA07、AA08
JA10、JA42、JA43
JA44



大野ゴム工業 TEL 03-3501-5825

東京都港区虎ノ門 1-8-11 <https://www.ohno5825.co.jp/>

逸品 2022

今年も様々な商品が発売された。コロナ禍における外出自粛ムードもなるとはなしに解消に向かいつつある中、展示会もちらほらと開催されるようになってきている。一方で、企業によっては不要不急の外出は避けるべしとの方針もいまだあって、せっかくの新商品、画期的商品を目の当たりにしていない方も多いことだろう。そこでここでは、各社イチオシのこれは! という商品の数々を厳選してご紹介していこう。



ホイールアライメントテスター「Quick Aligner3D Auto Boom」

アルティア » <https://www.altia.co.jp>

圧倒的なコストパフォーマンスを実現したホイールアライメントテスター「Quick Aligner3D Auto Boom」は正しいアライメント測定値を把握することができ、必要な調整やパーツの交換を行うことで、車両の走行安定性の向上・タイヤ偏摩耗防止・燃費向上を実現する。

測定方法は、ターゲットを装着した「ホイールクランプ」または、ホイールに接触しない「タイヤクランプ」を車両に取付後、ソフトで車種・車両タイプを選択。ソフトの画面指示に従い車両を前後するだけでキャンバーとトーの測定をし、ステアリン

グを操作することでキャスター等の測定が完了する。アライメント測定後には測定数値を「診断レポート」で発行でき、エビデンスとしての活用も可能。誰でも簡単・正確・短時間にアライメント測定を実施できる。

無料の専用アプリにより、タブレットやスマートフォンで離れた場所やビッド内からもテスターの操作、アライメント測定値の確認が可能。さらに、基準値や調整方法の不明点に関しては、専門エンジニアが調査・回答する「アライメントコールセンター」が1年間無料で付帯する。



モバイル多軸フリーローラー「AFR-S750M」

安全自動車 » <https://www.anzen.co.jp>

スピード測定時の必需品!低床かつコンパクトな多軸フリーローラー。しかも「モバイル」の名の通り、1人でもクイックに移動・接地が可能なすぐれもの。測定車両が載ると、移動用の補助車輪が上昇することにより、フリーローラー本体が地面に接地するなど、作業中に本体が動いて行ってしまうのでは?という不安もなく、安心して測定作業に専念できる。

多軸：多軸ローラーの採用により、タイヤセットポイントが広く、位置決めが簡単。ローラーレベルがフラットで、車両の乗り込み、退出もスムーズで、スピーディーか

つ効率的なテスト作業が可能となっている。**低床**：ローラーの高さ70mmという低床化を実現。従来品（NFR-S750）の122mmと比べて圧倒的なスペース効率を誇る。

安全：ガイドローラーの高さも低くなり、脱輪やホイールへの接触を防止する。材質も傷をつけにくい硬質ナイロンを採用。

コンパクト：従来品と比べて高さのみならず、長さも最小。コンパクトで省スペース化を実現した。

オプション：本体を収納できる台車、滑り止めゴムマット及び収納ケースを用意。



移動可能・コンパクト
ながらも機能はそのまま



操作動画



エイミング作業支援アプリ「楽々エイミング」

イヤサカ » <https://www.iyasaka.co.jp>

iPad Proに搭載されたLiDARスキャナを利用することで、ターゲットスタンド設置位置の計測と設置にかかる時間を大幅に短縮できるアプリ。一人でも簡単にエイミング作業ができるようになる。

基本的に画面表示に従って操作するだけなのでエイミング初心者でも迷うことなく安心して使える。最初に車種と検査対象部位を選択。するとiPad標準搭載のカメラが起動し、対象車両を画像として取り込み、その取り込んだ画像に対して車両の中心位置やそこから導き出されるスタンド設置位置などを上書き表示する。しかもこの

画像はカメラを向けた方向をリアルタイムで表示するので、この表示に従って、ターゲットスタンドを設置すればOKという仕組みになっている。

収録車種情報は国内メーカー9社147車種（記事執筆時点）。契約するとIDが発行されるので、それを基にApp Storeからアプリをダウンロードする。

対応するiPadは第2世代LiDARスキャナを搭載した2020年以降のモデルで、iOSは15.1以上に対応。iPadは契約には含まれず、別途用意する必要がある点は注意。



百聞は一見にしかず！
同社トレーニングセンターで体感を



マルチサポートツール「MST-nano」

バンザイ » <https://www.banzai.co.jp>

Windows10搭載の10.1インチタブレットPCが標準で付属し、プリインストールされたソフトで車両診断が行える、拡張性の高いスキャンツール。

タブレットPCは、2024年から開始となるOBD車検時に必要となるOBD車検専用ソフトを、直接インストールできる予定となっており、拡張性の高さはもちろん、長く使える点も安心だ。

エイミング作業をサポートする機能も備わっており、さらに国産8メーカーに関してはエイミング作業に必要な基準値データも車種ごとに閲覧可能。

タブレットPCと、OBDコネクタに接続するVCIとの間ではBluetoothで通信を行うため、ケーブルを気にすることなく車両診断が可能。

また、VCIはLED照明及び外し忘れ防止ブザーを搭載していることに加えて、オリジナルデザインの採用で暗い車内でも視認性が高い。

国産乗用車、国産トラック・バス、輸入車合わせて23メーカーに標準で対応。車両データのアップデートが3年間、スキャンツールホットラインが1年間、無償で利用できる。



タブレットPCは
耐衝撃・防塵・
防滴にも優れて
いる



特定整備認証ツール「TPM-3」

ツールプラネット » <https://www.toolplanet.jp>

ツールプラネットの主力スキャンツールであるTPMシリーズ。中でもTPM史上最高のコストパフォーマンスツールとして呼び声が高いのが「TPM-3」である。

2.8インチの液晶モニターを搭載したコンパクトなボデーにTPMならではの機能が満載。故障コードの読取と消去、データモニター、アクティブテスト、作業サポートなどのスキャンツールとしての基本機能に加えて、TPMならではの機能として以下を搭載している。

① **エイミングモード**：完了証明書（エビデンス）発行までの一連の作業の流れ

で行える。

- ② **簡易バッテリーテスト機能**：バッテリー診断を行う。
- ③ **メンテナンスモード**：車検や点検時の作業。
- ④ **DPFモード**：DPF関連の作業を簡素化させる。

対応自動車メーカーは国産乗用車8メーカー、国産トラック4メーカー、輸入車6メーカー。Bluetooth接続で自己診断結果や表示データなどを印刷できるミニプリンターなど、オプションも充実している。



車販店から整備工場に ソフトとともにその先へ

YKオートサービス

社長＝藤倉健太 所在地＝栃木県佐野市馬門町1901-1
使用ソフト＝ラクロスⅡ



車両販売店から 整備工場へ

関東三大師の一つ佐野厄除け大師や、近年では佐野ラーメンなどでも注目を集める栃木県佐野市。東北自動車道・佐野藤岡インターを下りて5分ほどの場所にYKオートサービスがある。

創業は2012年。藤倉健太社長が中古車販売店で積んだ経験を活かし、同市内で開業した。中古車販売店として業務を行う中、顧客からの整備ニーズの高まりを感じていたが、場所やスタッフの問題などから工場の設立ができず歯がゆい思いをしていた。

しかし、2019年に付き合いのあった鍍金塗装工場が業務縮小により撤退することが分かり、その工場を買い取ることと同時に整備士を雇用する。移転と同時に分解整備認証を取得し、念願の整備事業を開始した。また、「コンプライアンスの面と同時に、今後も業務をしていく上で必須になる」との考えから11月には電子制御装置整備認証も取得予定で、整備できない車両がない状況を作る。

手書きから ソフトへ移行した利点

同社は年間200台近い車を売買しているが、2012年から2020年まで納品書や請求書はすべて藤倉社長が手書きで行い、作業履歴はノートに記していた。しかし、車販のほかに整備が加わったことで書類作業は格段に増え、業務時間を大きく圧迫していた。

そこで近隣の工場から紹介された、鍍金・整備・顧客管理システムである「ラクロスⅡ」と、データ連動が可能な車販ソフト「カルタッチ」を2020年3月に同時導入した。経理や総務を担当する高橋美佳さんはシステム導入後の感想として「利点しかない」と話す。過去作業や納品書など顧客情報はこれまですべてノートから探していたが、システム導入後はすぐに検索できるようになり、誰がいつ入金があったのかすぐに確認し、元帳処理も容易にできることで作業効率は大幅に改善した。

また、同社のメイン事業である車販に関しても、「カルタッチ」が顧客情報と結びついているため、在庫車の管

理や見積りの確認もスムーズになった。同時に車両データにひも付いていることから名義変更後の車両などの検索も容易となっている。税理士への書類もラクロスⅡから抽出したデータを提出しており、その機能を存分に活用している。

車のことは何でもできる 会社を目指して

同社の今後の展望について藤倉社長は「車販、車検、整備を行っているが、顧客のニーズに応えるために車のことは何でもできる会社を目指し、鍍金塗装を始めたい」と話す。前述のように同社は鍍金塗装工場を居抜きで買い取ったことから、現在は磨きスペースとして活用しているプッシュプル型の塗装ブースが完備されており環境は整っている。

今後、鍍金塗装業務が始まったらラクロスⅡに鍍金塗装見積り機能を追加し、同社はさらに前進を続けていく。



藤倉健太社長（右から2人目）とスタッフ一同



納品書もスムーズに検索できるのは大きな利点となった



藤倉社長が書いていた見積りノート

クルマの一生に寄り添う
オールインワン管理システム

自動車業界の 変革期に対応!!

ラクロスII

RACROS II

High performance management system

1 FAINES連携



2 特定整備確認



3 グレード検索



4 駐車違反照会



従来のラクロスIIに新たな連携機能を加え、これからの自動車業界の変革期に対応

- ① FAINES連携…登録情報を連携し、作業点数・整備マニュアル・故障整備事例等参照
- ② 特定整備確認…特定整備の警告案内
- ③ グレード検索…自動車メーカーサイトによる正確なグレード検索
- ④ 駐車違反照会 ⑤ その他：輸入車諸元データ搭載

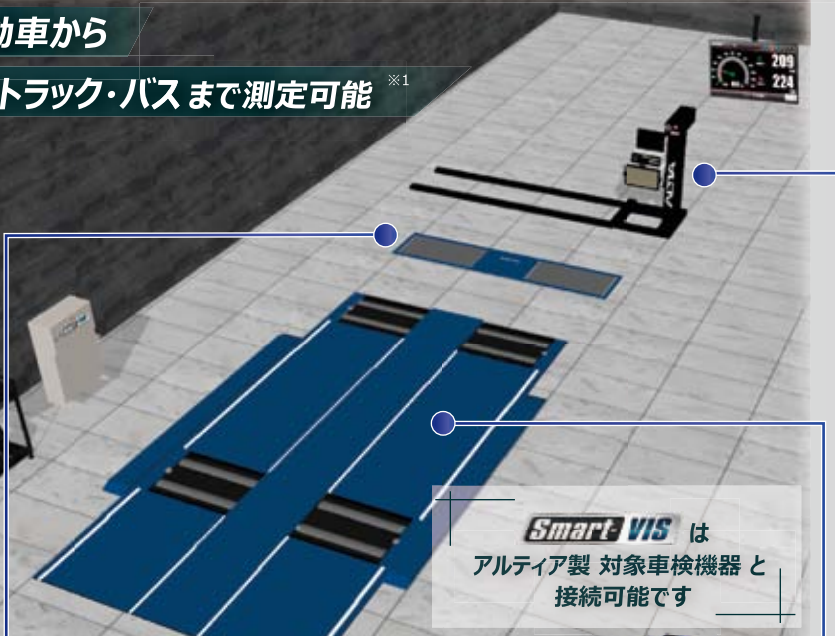
完成検査の未実施・測定時のヒューマンエラーを防止!! 車検業務の効率化・コンプライアンス強化を実現!!

コンピューター式車検システム
Smart-VIS スマートヴィス

Smart-VIS

軽自動車から

大型トラック・バス まで測定可能 ※1

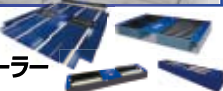


Smart-VIS は
アルティア製 対象車検機器と
接続可能です

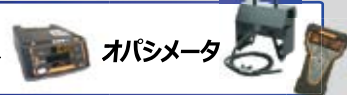
サイドスリップテスト



ブレーキ・速度計
複合試験機・フリーローラー



自動車
排出ガス
テスト



ヘッドライトテスト



※1 導入するテストやレイアウトにより、測定可能な車両は異なります。 ※2 印刷箇所は指定 / 特定整備記録簿の「検査機器等による検査」部分となります。整備システムとの連動で全面印字も可能です。

エーミング調整前にはアライメント寸法の把握が不可欠！
圧倒的なコストパフォーマンスを実現！

ホイールアライメントテスト **Quick Aligner**
クイックアライナー 3Dオートブーム **3D Auto Boom**



困ったときはお電話ください！
**アライメント
サポートセンター
1年間無料!!**

リモート操作可能

POINT
カスタマイズ車など
オリジナル車両データの
作成が可能！



下げ振りやコンバックスを使用した墨出し作業が不要！
簡単・正確・迅速なエーミング作業を実現！

エーミングサポートツール
ADAS MASTER エーダスマスター **ADAS-MASTER**



簡単
車両正対
視認性抜群
グリーンレーザー



POINT
カメラエーミング用ターゲット 標準付属
便利なマグネット式一体型ターゲット 国産乗用車 7メーカー12種類

製品特長・
グラフィックデザインが
よくわかる!!

プロモーション
ムービー
公開中!!



見やすい測定画面



OSS システム・整備システムとの連動可能

- 自検協「スマート継続OSS システム」
- ブロードリーフ「スーパー検査員」
- DIC ジャパン「OSS 一等書記官」
- MSP「Web 継続システム」
- ベルテス「extreme」他

オプション 記録簿印字 ※2

POINT
正確な記録簿印字が可能！
不合格項目・未検査項目がある場合、
記録簿の印字はできません！



CS-2100シリーズ

コンピューター検査システム

コンサートシステム

お客様のニーズに対応するトータルシステム

車両検査工程の 正確さ&効率UP



オプション

OPTION

機能

音声認識型目視入力システム

車両撮影システム

他システムとの連携

センシングツールTRASAS-CSとの連携



コンサートシステム連携 CS-iGAUGE用 ワイヤレスゲージ測定アプリ

コンサートシステムと連携する測定アプリ



WA670シリーズ

ホークアライメントシステム

ホークアイエリート

最新鋭のカメラシステム&簡単セットアップ

短時間 & 高精度なアライメントを実現



先進自動車の整備

ホイールアライメントが **正しく測定・修正** されていることが大切です

XF-803Z

高機能型洗車機

インテート G-FIVE・V

サイドブラシ圧補正機構を新搭載。自動コントロールが実現。

高額洗車による洗車単価をあげて **収益向上**をアピール



アンプルコンパクト

奥行8m×幅4mに設置できる **省スペース門型洗車機**

トレサスが変わる メンテナンス品質

TRASA(トレサス)は、工具メーカーとしてのノウハウとIoT技術を融合した、次世代作業トレーサビリティシステムです。

工具から取得した作業データを分析・管理することで、
最終製品の安全はもちろん、作業者や現場の安全、
さらには全社的な品質まで保証し、企業価値を高めます。

経験・勘に
依存しない
**作業の
均一化**

TRASAS

作業記録の
見える化

作業・管理の
効率化



トルクル



ブレーキパッドゲージ



タイヤデプスゲージ

TRASASが提案する
2つのソリューション

- 作業データの記録・管理・分析で、現場と管理の課題を解決!
- デジタルによる数値の見える化に加え、帳票への自動記入!

次世代作業トレーサビリティシステム「TRASAS」の詳細はこちら▶

<https://ktc.jp/trasas/info/>

